

1 単元名 「俳句をつくろう」

2 指導計画（7時間扱い）

次時	学習活動・内容	指導上の留意点
一 1	<p>名句を読み，お気に入りの表現を抜き出そう。</p> <p>1 範読を聞く。 2 音読をする。 3 暗唱をする。</p> <p>2 4 暗唱できるようになった俳句や気に入った表現をワークシートに書き抜く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとに10句程度名句を用意し，繰り返し読ませ，暗唱させ，優れた表現に触れさせる。 ・名句の優れた表現をワークシートに抜き出させ，語感や言葉の使い方についての意識を高める。
一 3	<p>言葉の使い方について考えよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>五、たとえを使った文を二つ書いてみよう。 例・・・天使のような笑顔で、母は、ほめてくれた</p> <p>○ 友達が走っている様子をたとえを使って書いてみよう。 ○ ○ ○ は、カメのようにゆっくり走った。 ・彼は、何かにとりつかれたかのように、夢中</p> <p>○ 空気が泣いている。 ・空がおこっている。</p> <p>六、同じような意味の言葉を三つ以上書いてみよう。（類例） 例 わらう・・・ほほえむ、爆笑する、ほくそえむ</p> <p>① 話す ささやく・会話する・しゃべる ② 多い たくさん・いっぱい・大量</p> <p>自分で問題を作ってみよう。 少ない 少し 少量 ちよっと</p> <p>七、「春・夏・秋・冬」という言葉を使わないで季節を表す。 春・・・桜、卒業、入学、うぐいす、つくし 夏・・・プール、花火、ゆかた、氷、にじ 秋・・・なし、七夕、運動会、もみじ、コスモス 冬・・・雪、手ぶくろ、クリスマス、こたつ、</p> <p>俳句の約束 ○○○五七五の十七音でつくる。 ○ ○ ○ 季語を入れる。 ○ ○ ○ 季語を二つ以上重ねない。 例 夏の夜 今日暑いな 熱帯夜 季語が3</p> </div> <p>1 ワークシートの設問に答える。 ・音数 ・表現による意味の違い ・比喻 ・同音異義語 ・季語</p> <p>2 問題を作成する。 3 問題を解き合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味や使い方が適切であるかどうかを考えさせ，言葉の使い方についての意識を高める。 ・俳句の約束として「季重なり」について説明し，重複する表現は省略することを助言する。 ・問題を解き終えた児童には，例題を基に問題を作成させ，言葉の使い方についての理解を深めさせる。
二 4	<p>俳句のもとになる短文をつくってみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句をつくる手順を説明する。 ・季節を感じた体験や行事を基に，で

		<ol style="list-style-type: none"> 1 大きな視点から短文を書く。 2 小さな視点から短文を書く。 	<p>きるだけ詳しく短文を書かせる。</p>
二	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">短文をもとに俳句をつくろう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1 読む人に一番伝えたいことと季語を七音か五音にあてはめる。 2 組み合わせを考えながら、適切な言葉を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短文から俳句をつくる手順を説明する。 ・七音と五音の言葉を複数考えた上で情景や気持ちを表すのに適切な言葉を選ぶよう指示する。
二	6	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">俳句を推敲して、よりよい表現をさがそう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1 評価表の観点に沿って俳句を推敲する。 2 グループで推敲する。 3 清書をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相互評価を円滑に進めるために、評価表の観点について、教師が例を示しながら確認する。 ・表現が適切であるかどうかを考えることが大切であり、表現を変えなくてもよいことを確認する。
三	7	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">句会を開こう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1 句会を開く。 <ol style="list-style-type: none"> ①全員の作品が書かれたプリントの中から、作品の一つを選ぶ。 ②選んだ理由を書き、投票する。 ③選んだ理由を発表する。 ④教師が選んだ作品を紹介する。 2 事前に書いた俳句を推敲する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・句会では名前を伏せ、投票の際には必ず選んだ理由を書かせる。 ・教師が選んだ作品を紹介することにより、今後の俳句づくりの視点を示す。 ・前時と同じワークシートと評価表を用いて事前に書いた俳句を推敲させ、学習内容の定着を図る。

言葉を知ろう クイズ その一

番 名前

一、俳句は十七音の詩です。では、次の言葉は何音でしょう。

- ① あひる (音)
- ② 犬 (音)
- ③ そっと (音)
- ④ 電車 (音)
- ⑤ お父さん (音)
- ⑥ ラグビー (音)

自分で問題を作ってみよう。

二、□の中に言葉を入れて俳句を完成させましょう。

- ① さみだれを 集めて早し □□□□□ 松尾 芭蕉
- ② 日焼け顔 見合ひてうまし □□□□□ 水原秋桜子

ヒント ①川の名前が入ります。 ②食べ物が入ります。

自分で問題を作ってみよう。

三、意味のちがいが分かりますか。

- ① ア 弟が食べました。
イ 弟は食べました。
- ② ア 校庭を走りました。
イ 校庭も走りました。

自分で問題を作ってみよう。

四、次の俳句で、「ほたるが、光りながらあちこち飛びかっている感じ」が一番よく出ているのは どれでしょう。

- ア 米洗う 前にほたるの 二つ三つ
- イ 米洗う 前へほたるの 二つ三つ
- ウ 米洗う 前をほたるの 二つ三つ

ヒント ほたるが目の前で止まって光っている
ほたるがむこうから飛んできて光っている

五、たとえを使った文を二つ書いてみよう。

例・・・天使のような笑顔で、母は、ほめてくれた。

○ 友達が走っている様子をたとえを使って書いてみましょう。

○ 天気をたとえを使って書いてみましょう。

六、同じような意味の言葉を三つ以上書いてみよう。(類義語辞典を使ってもいいです。)

例 わらう・・・ほほえむ、爆笑する、ほくそえむ、微笑、大笑い、にがわらい

① 話す

② 多い

自分で問題を作ってみよう。

七、「春・夏・秋・冬」という言葉を使わないで季節を表す言葉を五つ書いてみよう。

(歳時記を使ってもいいです。)

春・・・

夏・・・

秋・・・

冬・・・

俳句の約束

○ 五七五の十七音でつくる。

○ 季語を入れる。

○ 季語を二つ以上重ねない。

○ 例 夏の夜 今日暑いな 熱帯夜

季語が3つ入り、あたりまえのことをいっているだけ。

○ 切れ字(や・かな・けり)

例 や 古池や かわず飛びこむ 水の音

松尾芭蕉

例 かな をりとりて はらりとおもき すすきかな

飯田蛇笏

例 けり 赤とんぼ 筑波に雲も なかりけり

正岡子規

俳句を作ろう

番 名前

俳句にしたいことを おおまかに書いてみよう。 いつ・どこで・だれが・何をした
(例 日曜日、近くの公園に兄と散歩に出かけた。)

その時のことを思い出して、様子を「まかく書いてみよう。
どのように ・ 目 耳 鼻で感じたこととは ・ 発見したこと

- 例
- ・ 落ち葉をふんだら、「カサツ」と小さな音がした。
 - ・ 歩いたびに音がしておもしろかった。
 - ・ 風に吹かれてすきがゆれていた。
 - ・ 木にはまだたくさん葉がついていた。

その時の気持ちを
書いてみよう。
例 うれしかった。
気持ちよかった。

季節を表す言葉を書いてみよう。(いくつか書いてみましょう。)

短文を五音と七音にしてみよう。

- その一 一番伝えたいことを五音か七音にあてはめてみよう。
その二 季語を五音か七音にあてはめてみよう。

その三 伝えたいことが、読む人にぴったり伝わるように、五音か七音の言葉をあてはめて俳句にしよう。

俳句にしてみよう。

俳句をすいこつしてみよう。

前

Vertical rectangular box for the front side.

Vertical rectangular box for the front side.

Vertical rectangular box for the front side.

Vertical dashed rectangular box for the front side.

Vertical dashed rectangular box for the front side.

Vertical dashed rectangular box for the front side.



後

Vertical rectangular box for the back side.

Vertical rectangular box for the back side.

Vertical rectangular box for the back side.

評価表
番名前

自評価
目にそつ
てしよう。

さん
○で評価
しよう。

さん
○で評価
しよう。

五七五にあてはまっているか。

季節を表す言葉が入っているか。

いくつかの言葉の中から、もとの短文の意味に合う言葉を選んでるか。

同じ意味の言葉はできるだけ省いているか。(季語は一つ。)

言葉のひびきを大切にしているか。

評価した人は、気がいたことを書いてみよう。

さんから

さんから

お助けカード

友人の俳句をすいこうしてみよう。

前

--

--

--

--	--	--

--	--	--

--	--	--

後

--

--

--

評価した人は、気がついたことを書いてあ よう。

さんから

お助けカード

友人の俳句をすいこうしてみよう。

前

--

--

--

--	--	--

--	--	--

--	--	--

後

--

--

--

評価した人は、気がついたことを書いてあ よう。

さんから